

27.11.12 食品の安全・安心シンポジウム アンケート結果

参加者数	106	人
回収数	59	人

問 1

【ご自身について】

性別	男性	21	人
	女性	37	人

年齢	10代	1	人
	20代	2	人
	30代	6	人
	40代	9	人
	50代	10	人
	60代	13	人
	70代以上	17	人

区分	消費者	32	人
	生産者	4	人
	事業者	4	人
	行政関係	5	人
	報道関係	0	
	その他	9	人

本シンポジウムを知った方法

HP	3	人
広報紙	9	人
所属団体	28	人
県の案内	10	人
その他	2	人

問 2

【シンポジウムの評価（人）】

	満足	だいたい満足	やや不満	不満	評価なし
説明の内容について	12	38	6	2	1
質疑・意見交換について	5	26	2	0	26
全体について	7	35	3	2	12

問 3

【本シンポジウムで、食品に対する不安は減ったか（人）】

	減った	やや減った	やや増えた	増えた	どちらともいえない
	3	24	4	4	21

問 4

【今後、シンポジウムを開催するなら、どのようなテーマが良いか】

残留農薬	5	人
食品添加物	17	人
食品表示	14	人
食物アレルギー	9	人
放射性物質	3	人
輸入食品	18	人
その他※	1	人

※ T P P 導入による食の安全性の問題

主な意見

家庭の手洗い、特にトイレに行ったときは手洗いは必ずすることに心がけたい。参加でき、よかった。次回も話を聞きたいと思った。少し難しい部分もあったが、とてもためになったので、気を付けたい。細字が多くあるので読み切れない。おにぎり、カレー、水洗トイレまわりと具体的に工夫して話していただけたことがありがたかった。ノロウイルスの警報などもそうだが、県内の情報のアナウンスが少ない。店舗（食品関係）や飲食店内に、健康情報とともに食中毒防止の喚起を促すポスター等が見やすいところがあると良い。

シンポジウムの様子

